



# 鯨山

R4.9.28 令和4年9月号①

〒327-0817 佐野市伊勢山町1534 Tel 0283-24-2887 Fax 0283-24-3565  
<http://www.schoolnet-sano.ed.jp/inubushie-e/>



## 「しっかり学ぶ、東っ子」の育成

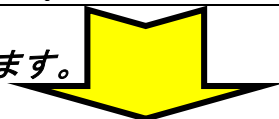
栃木県では、本県児童生徒の学力向上を目指し、児童生徒の学力や学習の状況等を把握・分析し、児童生徒一人一人の課題を明確にすること、各学校が組織的に学習指導における検証改善サイクルの構築と運用に取り組むことを目的として、4・5年生を対象に「とちぎっ子学習状況調査」を実施しています。また、全国では6年生を対象に「全国学力・学習状況調査」を実施しています。小学生の調査内容は、国語、算数、理科の前学年までの内容です。本校は、学年による多少の違いはありますが、全

体としては全国や県とほぼ同等の結果となっています。これは、学力向上への取組や家庭学習・自主学習等へのご家庭の協力等の成果と捉えております。

今後とも子どもたちの学力向上に努力していきたいと考えますので、皆様のお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。以下に結果の主なものを掲載いたします。

	4年	5年	6年
国語	◇平均正答率は、県とほぼ同程度だった。 ○話し手の工夫を捉えたり、自分の考えを話したりすることはよくできている。 ●考えとそれを支える理由との関係を明確にして書くことに課題が見られた。	◇平均正答率は、県を下回っている。 ○物語や説明文の内容を捉えることはよくできている。 ●文章から中心となる部分を見つけて要約したり、理由や事例を挙げながら説明したりすることに課題が見られた。	◇平均正答率は、全国とほぼ同程度だった。 ○話し手の中で必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを捉えることがよくできている。 ●物語の読み取りや漢字の読み書きに課題が見られた。
算数	◇平均正答率は、県とほぼ同程度だった。 ○2けたの基本的な計算や数の相対的な大きさ、時刻の計算についての知識は身に付いている。 ●3けた以上の計算や余りのある割り算、図形の説明に課題が見られた。	◇平均正答率は、県を下回っている。 ○数直線や計算の位どり、平行四辺形の作図などはよくできている。 ●計算の仕方を説明することや概数、図形の空間認識に課題が見られた。	◇平均正答率は、全国とほぼ同程度だった。 ○式を言葉で説明することや割合と基準量から比較量を求めることがよくできている。 ●作図を利用して考えることや目的に応じてデータを利用することに課題が見られた。
理科	◇平均正答率は、県とほぼ同程度だった。 ○「昆虫」や「ものの重さ」「磁石」についての知識は概ね定着している。 ●「植物」についての知識や「音の性質」の糸電話の音の伝わり方を説明することに課題が見られた。	◇平均正答率は、県とほぼ同程度だった。 ○「天気の様子と気温」「物の温まり方」の知識は定着している。 ●「電流のはたらき」のつなぎ方の理解や条件を関連付けて記述する問題に課題が見られた。	◇平均正答率は、全国とほぼ同程度だった。 ○「冬の天気と気温の変化」などグラフや資料の読み取る力は定着している。 ●「水溶液」についての知識や実験結果と自分や他者の考えとの関係を捉えることに課題が見られた。

これらの結果を受けて  
以下のように取り組んでいきます。



## ＜本校の重点的な取組の例＞

	＜4年＞具体策	＜5年＞具体策	＜6年＞具体策
国 語	・文章を書く力を育てるために、日記指導や授業の中で考えや思いの理由を常に意識させていく。また、目的に合った文章を書けるように意識させていく。	・キーワードを指定して、文章の要旨や感想を書かせる活動を多く取り入る。書いた文を発表したり見せ合ったりする機会を増やす。	・物語の読書量を増やすために定期的な声掛けを行い、感想を日記などに書く活動を取り入れる。漢字はテスト直しに丁寧に取り組ませる。
算 数	・朝の学習時間に、既習事項の定着・習熟を図る。 ・直方体や立方体の学習では、具体物を使って実感を伴う学習展開を工夫していく。	・基礎基本の定着を意識した授業、計算のやり方を各自で説明する場面を増やし集団全体で取り組んでいく。 ・図形の学習では、できるだけ実物で例示する。	・立式の仕方や解き方の説明をする場を増やし、色々な考え方に触れる場面を増やす。 ・図形の学習でも、作図方法だけでなく作図できる理由まで意識させる。
理 科	・質問紙から「授業の内容はよく分かる」との回答が多いことから、まとめや振り返りを丁寧にを行い、実感の伴うように知識の定着を図る。	・実験結果や学習したことから考察する時間を確保し、自分の考えを大切にさせる。また、身近な事例との関連を意識した学習を充実させる。	・実験の計画を子どもたちで考える場面を増やす。実験結果の考察では、キーワードを示すなどして根拠と関連付けた説明を意識させる。

## 「秋の交通安全県民総ぐるみ運動」が始まりました！

9月21日（水）～30日（金）が「秋の交通安全総ぐるみ運動」期間です。子どもたちには、21日の給食時の放送で安全確保のために交通ルールの確認・遵守を呼びかけました。日一日と日暮れの時刻が早くなるこの時期です。保護者の皆様にも、県が進めております「子どもや高齢者に優しい3S(スリーエス)運動」の推進にご協力いただければと思います。

※ 3Sとは、SEE(見る)、SLOW(減速する)、STOP(止まる)を意識した運転のことです。



## 「犬伏東地区の子どもをみんなで育てる会」

少し前になりますが、7月13日(水)に感染症対策のため規模を縮小し「犬伏東地区の子どもをみんなで育てる会」が3年ぶりに開催されました。犬伏東地区各町会長様、佐野警察署犬伏駐在所長様、犬伏東地区育成会長様、学校評議員の皆様、居場所づくりコーディネーター様のご参加をいただき、PTA 副会長、学校より校長、教頭、教務主任、地域連携教員が参加をしました。この会は、PTA 会長を会長として学校が事務局となり、名前の通り PTA だけでなく、地区のみんなで子どもたちの健やかな成長を願い情報交換・活動をしてきました。

今回は、安足教育事務所のふれあい学習課長様を講師として「佐野市立学校におけるコミュニティ・スクール導入について」と題した講話・ワークショップを行った後、犬伏駐在所長様より犬伏東地区の危険箇所等についてお話をいただきました。令和6年度より導入されるコミュニティ・スクールの情報を共有し、目指している方向性や子どもたちを取り巻く環境・背景から、子どもたちの安全を確保するために協力していくことを再確認することができました。

## ◎ボランティアの皆様にお世話になっております

今年度は、感染症対策をとりながら活動が再開できました。読み聞かせボランティアの皆様には、月2回の各教室での朝の「読み聞かせ」でお世話になっております。子どもたちは毎回お話の世界にぐんぐん引き込まれ、心の世界を旅しています。ミシンボランティアの皆様には、高学年の授業でお世話になっております。慣れないミシンの操作にあちらこちらで出される「どうしたら、、、」の声的的確な支援をいただいております。子どもたちは色々な方との交流により、成長しております。ありがたい限りです。

